

Tout nouveau, tout beau!!!

GOES INTERNATIONAL... #5

フランスサークルがリニューアル?!

Bonjour! Ça va??

国際交流員のアンブル率いるフランスサークルがこの秋から新しくなりました!

メンバーは1年生4人・2年生1人・社会人1人の計6人

今までの活動+イベントなどの楽しくアクティブなサークルに大変身!

<活動内容>

*世界の映画鑑賞 *料理教室(出張カフェ) *季節のパーティー

*プレゼンテーション *ニュースレター作成 *旅行体験談トーク etc...

※その他にも 皆さんのアイデアを詰め込んで更に楽しいサークルに◎

<Q&A>

Q. フランス語を履修していないけど…?

—A. 選択している語学関係なく学生・社会人とも(更に国籍関係なく)大歓迎!!!

サークルメンバーも 日本語とスペイン語を操るフランス語プロフェッショナル/広東語プロフェッショナル/フランスマニア/アメリカ1人旅経験者/イギリス・ニュージーランドの留学経験者 etc..

Q. 授業とかぶっちゃってるけど…?

—A. こちらも問題ありません◎ 6時から参加のメンバーもいますし、全員が集まれそうな日時を調査し、時々ランチサークルも行う予定です!



10月20・21はご存知、芸短祭でした！

20(土)にフランスサークルは、クレープ屋さんを開きました。
味の種類は定番チョコバナナ・ブルーベリー・日本では少し珍しいシュガーレモンの3種類。
クレープ生地もその日の朝にサークルメンバーで焼き上げました。
午前・午後の販売予定だったのですが、なんと大人気で午前中に完売しました！感謝です！
午後を楽しみに来てくださった皆さん、本当にごめんなさい！！



社会・文化: < “すみません” VS “Merci” の文化 >

サークル活動や私の参加している社会人向けのフランス語教室では、フランス語はもちろんですが、その他にもフランスと日本の文化の違いについてなど、様々なトピックをアンブルは取り上げてくれます。そこで、最近のトピックをご紹介します！

日本人にとって何か頼みごとをするとき、相手への謙遜としてよく用いられる
“すみません” “申し訳ないです” “恐れ入ります” 等々の言葉ですが、**勿論これは日本の文化！**

では、フランスでは・・・？

☞ “Merci！” の一言で相手への気持ちは十分伝わるそうです。

ちなみに日本では、何度もお礼（“ありがとうございます” や “すみません”）を言ったり、何か相手にしてもらった後に感謝の手紙・メールを送ることがほとんど常識となっていますが、フランスでは、一度の “Merci！” で。逆に何度も言うことの方が不自然だそうです。

なんだか、日本人の私たちにとってドライな感じ？がしますが、先生は、日本のお店で、お客さんが店員さんに “ありがとう” を言わないことに、カルチャーショックを受けていました（特に若者）。フランスでは店員さんにも、“Bonjour！” “Merci！” を言うことが当たり前。とても素敵な文化だと思いませんか？
その他に、チケット等を買う際には、“s’il vous plaît！”（お願いします）も忘れずに！

フランスの映画：メルシイ人生！

●あらすじ●

まじめで平凡な中年男が自ら**ゲイと偽る**ことで会社のリストラに対抗しようとして巻き起こる騒動をユーモラスに描いたフレンチ・コメディ。出演はフランスのダニエル・オートゥイユとジェラルド・ドパルデュー。映画の舞台となった Condom 会社には、日本の相模ゴム工業のパリ工場が使用されている。

Condom 会社に勤めるいたってまじめなだけが取り柄の冴えない中年男性ピニオン氏。妻子にも見捨てられた彼に追い討ちをかけるように、20年勤めた会社からクビになることを聞かされる。思いあまって身投げをしようとしたところを隣の部屋の老人に助けられる。事情を聞いた老人は**クビにならない方法**をピニオン氏に伝授する。翌日、会社宛に男と情熱的に抱き合うピニオン氏の写真が送られてくる。これを見た経営陣は**ゲイ差別**との糾弾を怖れてピニオン氏の解雇を撤回する。ピニオン氏の思惑は見事に成功したわけだが、当然周囲の見る目はすっかり変わり.....。

●感想●

フランスサークルで「メルシイ人生！」というコメディ映画を観た。ストーリーがおもしろくて観ている間、笑いが絶えなかった。この映画の中でゲイパレードのシーンがあった。主人公のピニオンが大きな Condom のかぶり物をして、パレードに出ている山車の真ん中に座っているのだ。フランスではこんなに大々的にゲイやレズビアンの人々が活動しているのか・・・！興味が湧いたので調べてみた。

●ゲイパレード●

日本においても「レインボーマーチ」([札幌](#))「レインボーパレード」([関西](#))という名称が使われ、[東京](#)のパレードでは「[東京プライドパレード](#)」が開催されている。

海外では、公園や[歩行者天国](#)の道路を使ってコンサート、ビールスタンド、コンテスト、スポーツイベント、ゲームなどを提供してカーニバルのような形態を取る都市もある。

同性愛者の結婚を認めているニューヨーク州も1周年を迎え、大きな風船などがだされて、盛大なパレードが開催された。

日本は同性愛者がよくテレビに出てはいるが、普通に生活する上で、受け入れるにはまだ抵抗がある気がする。どんな人も気持ち良く生きられる世の中になれば良いなと感じた。



←これはカナダ、バンクーバーのゲイパレード

大分国際フェスタ

～世界をまるごと体験しよう～

Bonjour!

10月21日(日)にオアシス1階にて世界各国のステージパフォーマンス、伝統的な遊び、世界のおやつ、日本文化体験ワークショップなど、国際色豊かな多数のブースが一同に集まりました。その中でフランスサークルである私たちはフランスで有名なミサンガ作りを子どもたちに教えてあげました。小さい子だと4歳から、おじいちゃんおばあちゃんの世代まで参加していただいたのですが、4歳の子にとっては少し難しかったので最終的にお父さんお母さんに教えてあげていました(´u´)。

活動終了の午後4時まで大人気！普段ちいさい子どもたちと触れ合う機会がないので新鮮で、また子どもたちの元気なパワーをもらえました。子どもたちも初めは緊張していたようでしたが、作りながら話していくうちに心を開いてくれて、お互いにとても楽しい時を過ごすことができました！

このフェスタが終了して夜7時くらいから、国際ブースで知り合ったバングラデシュ出身のアリさん、社会人のたかこさん、フランスの先生アンプル、活動に参加したフランスサークルのメンバーでイタリアンレストランに行き、お互いの海外での経験を話したり、世界のこと日本のことについて深く語りました！たくさんを知って自分の中の世界が広がった気がしました。とても素敵な夜でした。こんな経験ができるのはフランスサークルに入ったから！あなたも一緒に参加しませんか？



HALLOWEEN PARTY 2012. 10. 31

TRICK OR TREAT !!!

10月31日(水)に大分芸術文化短期大学でハロウィンパーティーがありました!!!



Halloweenって何？

それぞれ、好きな仮装をして、お菓子や食べ物を持参し、ハロウィンパーティーが始まりました!!

わたしたちフランスサークルのメンバーも仮装をしました！社会人も子どもたちも先生も皆仮装しました。マイケル・ジャクソンも“Back From The Dead”いましたよ！



フランスサークルでは、一生懸命作ったハロウィンパーティーの飾りをつけたり、準備しました。



メンバーそれぞれイギリスやアメリカ、フランスを担当し、各国のハロウィンについても、調べてみました。

Jack 'O Lantern の伝説を知ってる？

万聖節の前夜 10月31日はケルト人の一年の終日で精霊や鬼女が出てくるといふ。ジャックという嘘つきで怠け者の鍛冶屋が酒場で飲んだくれていた。お金が貯りなくなって酒代を何とかしてくれるよう精霊へ願いを込めた。そして、精霊へ人生最後の飲み物と引き換えに魂をあげる約束を唱えたといふ。精霊は6ペンスコインに変身して酒代の支払いをしようとしていた。狡賢いジャックは銀の十字架でコインを押さえつけ、精霊が「元に戻れないように財布に押し込んだ。元の姿に戻れずに10年間はジャックの魂を取りに来ないことを約束した。10年間後、ジャックは田舎道を歩いていると悪魔に出会いました。精霊の約束期限が切れたので、魔界からジャックの魂を取りに来たといふ。「この木の上に登ってリンゴを取ってきておくれよ」ジャックは言いました。優しい悪魔がこれがジャックにと

って最後と思い、リンゴを取りに木に登りました。するとジャックは木に十字架を刻み込み悪魔は木から下いられなくなってしまい、二度と彼の魂を取らないと約束しました。それから月日は流れジャックは死にました。今まで散々な行いをしてきたため天国への門は開けてもらえません。仕方なく地獄へ行くことにしましたが、悪魔はジャックの魂を取らないという約束を覚えていました。「いったいおれはどこへ行けばいいんだ？」とジャック。「元来たところに帰るんだね」と悪魔。その夜は真っ暗で風が強かった。ジャックは光をくれないかとお願ひ唱えた。悪魔はジャックに地獄の炎の残り火を投げた。ジャックは大好きだったカブをくみぬいて炎をその中に大切に入れた。これで、炎が風にかき消されてしまうことはありません。ジャックは灯火を手に、今も永遠に彷徨い続けている。この話アメリカに伝わった「カブのランタン」は、移民したアイランド人によりアメリカでの生産が高かったかぼちゃのランタンに変化した。毎年ハロウィンの日に作るかぼちゃのロウソク立てジャックランタンと呼び、善霊を引き寄せ、悪霊たちを遠ざける効果があると言われている。

フランスにはハロウィンがあるかしら？

いいえ。フランスでは11月1日にラ・トゥサン「La Toussaint」があります。日本語で諸聖人の祝日・万聖節という意味です。実は欧米のハロウィンより日本のお盆に似ている。カトリック教会の祝日で、黒い服をきて、お墓に参って掃除をしたり、亡くなった親戚のために花をささげたいする。花は菊です。その日を静かに過ごしている。

イギリスでは？

イギリスではハロウィンより「Guy Fawkes' Day」という11月5日の方が盛んです。11月5日が近付くと、子どもたちはほろ布などでガイ・フォークス人形を作り、「Penny for the Guy!」「外のために小銭を！」と通行人にねだります。最近ではハロウィンとごちゃまぜになり、「Trick or Treat!」と言って家々をまわり、お菓子や小銭を集める子供もいるそうです。この行事が終わると長い冬へ突入すると言われています。

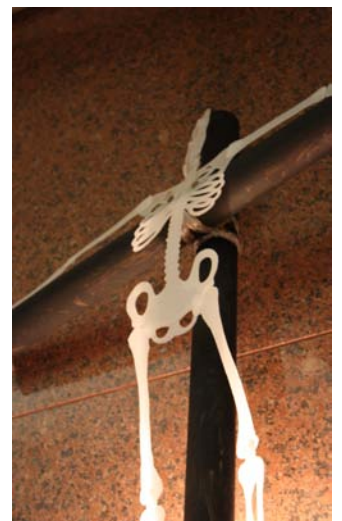
今まで他の国のハロウィンについて知らなかったのでもいい機会で、よかったです。

ハロウィンパーティーに参加した人たちは、初対面の方も多く、いろいろな方々と交流することもでき、とても楽しいハロウィンパーティーとなりました！



10月31日(水)に開催したハロウィンパーティーは皆様のご協力のおかげで無事終わることができました。ありがとうございました。

ちびっこから社会人の方まで、国籍も様々な多くの方の個性溢れる仮装、手料理、お菓子、そして交流によって楽しい時間を過ごすことができました。日本語に英語を交えながら国籍や年齢の違う人と話すことができたことは貴重な経験となりました。みなさんにとっても思い出に残るような時間となっていればとても嬉しく思います。



2012.12.13

クリスマスパーティー



12月13日にクリスマスパーティーを大分芸術文化短期大学で1階のエレベーターホールにて行いました！
テーブルの上には、おいしそうなお飯とデザートがずらり。とてもおいしかったです！

今回はクリスマスパーティーということでみんなでプレゼント交換をしたりしました！ハロウィンパーティーにつづきとても楽しいクリスマスパーティーとなりました！！



ショコマロン Bûche de Noël

8 - 10 人



材料：

- **ビスケット**：小麦粉 60 グラム、トウモロコシ粉 40 グラム、卵 4 個、砂糖 140 グラム、バター 50 グラム
- **クリーム**：マロンクリーム 500 グラム、やわらかいバター 125 グラム、ラム 3 大さじ
- **シロップ**：砂糖 100 グラム、ラム 50 ミリ、お水 150 ミリ
- **アイシング**：ダークチョコ 50 グラム

作り方：

ビスケット：

- ① サラダボールの中にムースの感じになるまで 4 つの黄身と砂糖を泡立てて下さい。小麦粉とトウモロコシ粉と溶かしたバターを入れてよく混ぜて下さい。そして、泡立てた 4 つの卵白を入れて混ぜて下さい。
- ② オーブンのプレートにキッチンペーパーを敷いて生地を注いで下さい。一面ごとに 8 - 10 分ぐらいを焼いて下さい。金色にならないといけません。
- ③ 濡れたタオルに焼いたビスケットをいれて、ロールして冷まして下さい。

クリーム：

- ④ 他のボールにマロンクリームとバターを混ぜて下さいラムを加えて良く混ぜて下さい。

シロップ：

- ⑤ 鍋に砂糖とお水を沸かして下さい。冷ましたら、ラムを入れて混ぜて下さい。
- ⑥ キッチンペーパーを出して、ビスケットを広げて下さい。作ったシロップでビスケットを湿らせて下さい。
- ⑦ ビスケットの上に 3 分の 2 のマロンクリームを入れて、ゆっくりロールして下さい。ラップで閉めて下さい。

アイシング：

- ⑧ ダークチョコを電子レンジで溶かして、残りのマロンクリームと混ぜます。
- ⑨ お皿に Bûche を直接に置いて下さい。残ったマロンクリームをチョコと混ぜて、Bûche をカバーして下さい。フォークで、ケーキの表面に線を軽く引いて下さい。その後、冷蔵庫に 12 時間入れて冷まして下さい。召し上がる少し前に、冷蔵庫から出しておいて下さい。